

質問通告者と質問事項

※5月下旬頃にホームページで会議録が公開されます。

○政友会第一・高崎 和夫 議員

- ①平成28年度予算編成について
- ②庁舎復興再整備事業について
- ③まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ④農業委員会の制度改正及び農地制度について
- ⑤消防サイレンの吹鳴について
- ⑥一億総活躍社会について
- ⑦農業行政について

○政友会第二・前野 良三 議員

- ①電子市役所の推進について
- ②地域公共交通の充実について
- ③ほほえみセンターについて
- ④地域おこし協力隊について

○一誠会・滝田 一郎 議員

- ①財政の健全化と平成28年度大田原市予算編成について
- ②教育環境の充実と子育て支援について
- ③高齢者対策と介護について
- ④大田原市未来創造戦略における雇用及び産業振興について
- ⑤行政改革について
- ⑥一般廃棄物管理型最終処分場について

○政友会公明会・小池 利雄 議員

- ①国土強靱化地域計画の策定に向けた取り組みについて
- ②子ども子育ての取り組みについて
- ③教育の取り組みについて

○星 雅人 議員

- ①障害者差別解消法施行後の対応について
- ②地方創生時代の会議室と市民活動のあり方について

○大豆生田 春美 議員

- ①障害者差別解消法施行に向けた取り組みについて
- ②中学生の英語力アップについて

○本澤 節子 議員

- ③電話詐欺防止について
- ①放射能対策について
- ②給付型の奨学金制度の創設について
- ③市庁舎建設について
- ④「暴力いじめゼロ大田原市宣言」の進捗状況教育について
- ⑤非正規雇用を無くしていく運動について
- ⑥新たなごみ収集など循環型社会の促進について
- ⑦新たな農業施策について
- ⑧高齢者対策について
- ⑨市民要望について

○弓座 秀之 議員

- ①障害者差別解消法施行に伴う本市の取り組みと準備状況について
- ②小中学校への防災士の配備について
- ③2017年及び2018年に開催予定の自転車ロードレース(ツール・ド・とちぎ)開催について

○深澤 賢市 議員

- ①庁舎建設について
- ②旧川西中学校の跡地利用について
- ③課税客体について

○君島 孝明 議員

- ①小中学校の統合について
- ②担い手三法について
- ③大田原市制度融資について
- ④野崎駅東地区開発について
- ⑤産業用太陽光発電所について

○櫻井 潤一郎 議員

- ①自転車を活用したまちづくりの推進について
- ②健康づくりの推進について
- ③プレミアム付き大田原市子育て支援券について

○秋山 幸子 議員

- ①自然災害の支援制度の周知の徹底を
- ②国民健康保険税の引き下げを

○印南 典子 議員

- ④文化芸術振興基本法に基づく、大田原市文化芸術振興基本計画の策定について
- ④障害のある人もない人も、共に生きる社会を目指す「障害者差別解消法」に基づく取り組みを
- ①大田原市の意見公募手続き(パブリックコメント)について
- ②地域おこし協力隊について

○千保 一夫 議員

- ①乱脈な税金の使い方は納税者の前に明らかにすべき
- ②再開発ビル(トコトコ大田原)の7階建ては中心市街地の未来を犠牲にした取り返しのつかない大失策
- ③福祉大の医学部誘致失敗も取り返しのつかない大失策
- ④(株)大田原ツーリズムは努力しても経営改善は困難
- ⑤特定の人を見て公金を使うことは不公平、不透明である
- ⑥(株)大田原まちづくりカンパニーへの貸付金2億5千万円の無利子、30年償還は不当支出ではないのか
- ⑦国保税は大幅な引き下げをすべきである
- ⑧介護保険料の大幅引き上げによる重過ぎる負担を適正に改善すべき
- ⑨地域包括ケアシステムの構築に着手すべき
- ⑩市奨学金制度の改善により教育費の負担を軽減すべき
- ⑪地方自治体の財政運営の基本認識に立って、税金は1円も無駄にしないことの決意が必要

○鈴木 央 議員

- ①文化財について
- ②大田原市火葬場について
- ③自治公民館について

○小野寺 尚武 議員

- ①財政運営について
- ②新庁舎建設について
- ③緊急雇用創出事業について



〈住 吉〉

永塚 明弘 さん



3月の市議会を傍聴したことで、この原稿執筆の依頼がありました。私がこの依頼を受けた理由は二つあります。

まず一つ目は、沢山の人に市議会を傍聴して欲しいと思ったからです。昨年の市議会議員選挙で26人の方が当選されました。議員は言わば有権者が生んだ子供だと思いませんか。皆さんは幼稚園や小学校の授業参観の経験があると思いますが、自分の子供がどんな事をしているかを知るには絶好の機会ですよね。議会という場もそれと同じだと思います。また親は子の監督責任があるように、有権者は議員がしっかりと仕事をしているかを見届ける責任があると思いませんか。それぞれの議員が、どんな考えを持ち何をしたいと思っているのかを知る機会はそれほど多くはありません。だから

二つ目は、議会傍聴に行きやすい環境を作って欲しいと思ったからです。傍聴席を見渡すと、市政に関心を持って欲しい現役世代の人があまり居ませんでした。当然と言えば当然の話で、平日の昼間では傍聴に行きたくても行けません。ネット中継なども駆使していますが、出来れば土曜日や休日を利用するわけにはいかないものかと思いました。

最後に、議員と市の執行部の真剣な質疑応答はなかなか迫力があり、市民の為に一所懸命に働いていることがよく分かります。そんな議員の方々が市役所職員の方々に敬意を払い、益々のご活躍を期待しております。